

令和5年度

赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和5年10月6日(金)

校長 高橋 励

～保護者の皆さまへ～

あきやす ちょっとだけ、秋休み

～ご家庭での健康観察、お願いします～

10月に入り、あわてて季節が追いついてきて、木々の落葉も日を追うごとに進んでいます。おかげで熱中症の心配はしなくてよさそうですが、合唱祭が近づくにつれ、インフルエンザやコロナ等の感染症が気にかかります。

10月12日(木)までの短い期間ですが、茅ヶ崎市立学校は秋季休業期間。部活動の大会や練習試合、家族とのお出かけなどで、ふだんとは違う人との接触の機会が増える人も。うがい・手洗いなど感染症予防の基本的な行動やご家庭での健康観察など、後期のよいスタートにつながる御配慮をお願いいたします。

ねが 「もしものとき」のお願い

今後、お子様がインフルエンザまたは新型コロナウイルス感染症と診断された場合、まず電話・COCOO等でその旨ご連絡いただいた後、出席停止期間や受診医療機関名等を把握するための調査を学校からCOCOOで依頼します。COCOOで学校から送信されるメールにあるリンクをクリック(またはタップ)していただくと、「赤羽根中学校 インフルエンザ(または新型コロナウイルス) 状況確認」というアンケートフォームが開きます。回答を入力後、一番下のボタンで「送信」していただければ学校に届きます。

でも、この手の道具は使わないで済むのが一番。ご家族みんなでよい秋休みを(*^_^*)

Dear Student(*^_^*)

かのうせい 「まだできない」は可能性!

通知票、手元に届きましたか?

それは、あなたが未来に向うための道しるべ。

できるようになったことに注目するか、できないことに注目するかも、もの見方は変わるもの。きちんと前期の半年を振り返りましょう。

あなたは中学校で過ごした時間の中で、どれだけのことがわかり、できるようになったのでしょうか? 学校での学習は、1年間であなたに身に付けてほしいと願うことが目標として示されています。

あなたは、今、多くのことを身に付けて、自分のできることを増やし、確かめていく時期を生きています。「まだできない」ことが沢山あるけれど、これから先の未来を考えると「これからできるようになる」可能性が沢山あるということ。

これは学習に限ったことでなく、合唱などの行事に取り組むなかでも、部活動や習い事でも、毎日の人とかかわりでも、まだできないことに向き合っていくから成長できるのではないのでしょうか。過去には当たり前できていたバレーボールが「昔のようにもうできない」ということに気づかされたわたしには、「まだできない」あなたの姿はキラキラとしています。

通知票は「できるようになったこと」と「まだできないこと」をあなたに伝えるメッセージ。どのように自分が変わっていく

かはあなたが決めるもの。

後期も、自分のできることを、工夫をしながら粘り強く増やしていったらいいと願う校長です。

